

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2021/10/1

No.683

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

Shinran
500
800

親鸞忌七六〇年

報恩講



～南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう～
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要（慶讃テーマ）



講師「コロナ禍の中、後生の
一大事をあきらかにしよう」

おまえ けんじょう 先生のご紹介
1944年(S.19)大分県中津市生まれ
京都大学博士課程(仏教学専攻)取得
九州大谷短大仏教学科教授
同学長・現同名誉学長
著書「人生を丁寧に生きる」「生活の中の
仏教語」「浄土からの道 - 二河白道の譬え
に聞く」他

報恩講 日程	
10月3日(日)	速夜 13時30分
10月4日(月)	法話二席
	晨朝 7時
	日中 10時
	御伝鈔拝読
	結願速夜 13時30分
	法話一席
10月5日(火)	結願晨朝 7時
	報徳会 11時
	結願日中 13時30分
	法話一席

法要・行事予定

10月	
2日	真如上人御祥月御命日 (8時)
	～報恩講～ (3～5日)
3日	速夜 (13時30分)
4日	晨朝 (7時)
	日中 (10時)
	結願速夜 (13時30分)
5日	結願晨朝 (7時)
	報徳会 (11時)
	教如上人御祥月御命日
	結願日中 (13時30分)
12日	闍如上人御速夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
14日	巧如上人御祥月御命日 (8時)
27日	宗祖聖人御速夜 (14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 (8時)
	法話：輪番 武宮 信勝

11月	
4日	達如上人御祥月御命日 (8時)
12日	闍如上人御速夜・常永代経 (14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中 (8時)
21日	本山御正忌団体参拝 (8時出発)
24日	顕如上人御祥月御命日 (8時)
	定例法話 (13時30分)
	桑田 和貴師 (第12組円照寺)
27日	宗祖聖人御正忌御速夜 (14時)
28日	宗祖聖人御正忌晨朝 (8時)
	宗祖聖人御正忌日中
	法話：輪番 武宮 信勝 (10時)

※ 11月の諸行事につきましても、感染状況をみて判断致します。



親鸞さまに会いに行きましょう

真宗本廟（東本願寺）では来る11月21日（日）から28日（日）にかけて「正忌報恩講」が厳修されます。別院門徒会として、団体参拝を左記の通り計画致しました。同封してありますご案内を確認の上、是非ご参加下さい。

日程 11月21日（日）午前8時出発
集合 天満別院同朋会館講堂
参加費 1人5000円（午前7時45分）

今月の伝道掲示板



編集後記

賛否両論のオリンピック・パラリンピックも無事に終わりました。コロナ禍の今日、自分のおかれている立場の中でどうやって生きて行くのか、選手達の前向きな姿を見て、皆それぞれ思ったことがあったのではないのでしょうか？
別院報恩講に向けてしっかりと進めて行きたいと思えます。

本山（東本願寺）御用達

(株)平安法衣舎

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

今、新型コロナウイルス感染症のただ中です。このウイルスは人間から「健康」を奪い、同時に「経済」を破壊しています。ウイルスは健康か経済のいずれか一方をダメにするのではなく、健康も経済も同時に共にダメにしているのです。

そこで健康と経済が共にダメにならずうまくいくようにと、両者をなんとか折り合わせようとして対策がとられ、緊急事態宣言も何回も発出されました。しかし度重なる緊急の意味も薄れ、どうでもよくなり、放り出され、生きる意味も薄れてまいります。

大切なものは健康と経済であると常々思われていますが、コロナ禍にあって実はそれ以上に「生きることの意味」が問われていたのです。本当の大切さのあたりかです。

この課題は「後生の一大事」と呼ばれ、人生の根本テーマとして真宗門徒に長らく尋ねられてきました。

大切なものは、健康ですか、お金ですか、それとも何ですか？

告知

青年部会パネル展示会

天満別院教化委員会青年部会により、『天満別院のあゆみ〜明治から現代へ〜』と題したパネルを制作致しました。パネルは計6枚制作し、戦前の様子から、2015年に厳修された親鸞聖人750回御遠忌法要までを年代順にまとめています。完成したパネルは報恩講から一階講堂前に展示しております。天満別院をより深く知っていただく一助となれば幸いです。

報恩講お手伝いのお願い

来る10月3日(日)〜5日(火)、例年の如く天満別院報恩講が厳修されます。つきましてはご門徒の皆様にお手伝いをお願いいたします。ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日程 10月4日(月) 9時〜17時まで
10月5日(火) 9時〜17時まで

報告

墓じまいが進む今

パンフレット及び墓地看板の設置

この度、墓地委員会のご了承を得て、「今、何故お墓なのでしょ〜」

ー亡き人を憶うところに我いのちの深さをいただくーを願いとし、パンフレット及び看板を作成致しました。

墓は今を生きる私たちにとって亡き人を追慕することはもとより私に生き方(いのち)が問われ、頭が下がる大切な場であることを広く知っていただくことになればと思っています。



墓地看板

パンフレット

別院陸屋根(屋上)防水工事

当別院は築二十一年の歳月が流れ、風雨に耐えてきました。御拝口(表入口)の屋根。寺務所の天井に雨漏れが目立つようになりしました。

この度、院議会の承認のもと責任委員会の同意を得て防水工事を致します。

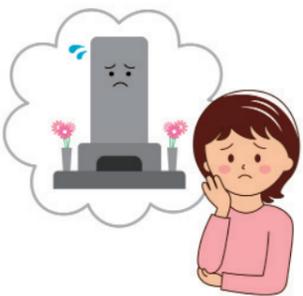
工期は 令和三年十月六日〜十月三十日 安全対策に十分考慮して参りますのでご理解の程、よろしくお願ひ申しあげます。



寺務所天井雨漏りの様子

Q&A

後継者がいないので、お墓やお仏壇を処分したい



答え

先祖代々大切に守られてこられたお墓を、「墓じまいしたい」と。大変な事態になってきました。そもそも、お墓やお仏壇は、亡き方々が命をかけて私達にまで本当に尊い「命」を届けてくださった「諸仏」としお慰びし、この私が命を精一杯生ききっているかを確認させて頂く『よりどころ』としてあるものではないかと思えます。お亡くなりになられた方だけをお祀りしているだけではなく、亡くなっていかれた先人達の願いを聞かせていただき、やがて私達も浄土へ帰っていく存在であり、

「今」を本当に生きていくか、と問われている声なき声に耳を傾ける場ではないでしょうか。すなわち「迷わずに方向を見つけてくれ」という願いなのではないでしょうか。例えば、お墓を処分し納骨堂や合同墓に改めて埋葬するという方法が御座います。大切にされてきたお墓ですので安易な気持ちで考えることは好ましいこととは思えません。しかし、お参りに行けない事情や、後のことをしっかり考えた上で執り行うのであれば、遷すことは決して悪いことではないと思います。

お参りに行けずに無縁墓になることほど残念なことはありません。ですから、今後最もお参りしやすい環境にすることで、そのためであれば、ある意味大切なことといえるでしょう。お仏壇を処分したとしても、ご縁のあるお寺でお参りをして頂くこともできるかと思えます。

(第12組 圓滿寺 杉本潤)

輪番雑感

後生の一大事

武宮 信勝

秋のお彼岸法要は、コロナ感染緊急事態宣言の中、昨年に引き続き「御法話」を中止しました。御講師の茨田先生には二カ年に亘り「出講」お断りのお知らせには、言い知れぬ慙愧が湧きました。親鸞忌760年別院「報恩講」を目前にし、感染の動向を案じています。

今や人々は、マスク社会から解放されて、以前の様な生活に戻りたいと願っています。特に経済優先社会の国々は、二回のワクチン接種終了証明書・PCR検査「陰性」証明書の提示で回復を早めようとしている。景気が良くなり生活が豊かになることが人間の幸福につながると思われています。あなたは本当にそう思われますか？

たとえうるおいの生活が営まれたとしても、誰一人老病死を免れることはできず、必ず捕まってしまう痛みを感じます。「人間を本当に救うのは、経済でもなく、医療でもなく仏教です。」と医療従事者であり、念仏者の田畑正久医師がよく言われています。

私は、先月号の『六字城』で「無明の闇」を掲げ、どん底にいる私

たち人間を悲しんで、憐れんでおられるお方に出会いましょうと呼びかけました。

人生見直しはできても、やり直すことはできません。事実もう以前のような生活に二度と戻ることができないのですね。

亡き父が常々「我々にとって過去は現在の深さであり、未来は現在の高さ」と言っていました。「いのち」は物差しのような長短で測ることはできないということ。言い当ててくれたのだと思います。

言い換えるなら、ここに在る「今」を生きていることが、何よりもかけがいのないということ。でなからうか。

蓮如さんは、「人間のほかなき事は、老少不定のさかいなれば、たれの人もはやく後生の一大事を心にかけ、阿弥陀仏とふかくたのみまいらせて、念仏もうすべきものなり」

『御文』(五帖目第十六通)

「仏法には、明日と申す事、あるまじく候。仏法の事は、いそげ、いそげ」

蓮如上人御一代記聞書(103)

と仰せられています。別院の「報恩講」に是非、御参拝ください。職員一同感染症対策に充分考慮しつづ、皆さまに出遇えることを楽しみにして参ります。